

中山間地域等直接支払事業 について

埼玉県農林部
農業ビジネス支援課

中山間地域等直接支払制度とは

- 農業生産条件の不利な中山間地域において、集落等を単位に、農用地を維持・管理していくための取り決め(協定)を締結し、それに従って5年間以上農業生産活動を行う場合に交付金を交付する制度。
- 平成12年度の創設以降、第1期～第3期対策まで実施し、平成27年度から第4期対策(平成27年度～平成31年度)が開始。

交付単価

急傾斜

※10aあたり

緩傾斜

地目・傾斜	単価
田(1/20以上)	21,000円
畑(15° 以上)	11,500円

地目・傾斜	単価
田(1/100以上)	8,000円
畑(8° 以上)	3,500円

平成27年度の実施状況(全国)

- 東京都・大阪府を除く45道府県、990市町村、25,635協定で実施。(H26比:△8市町村、△2,443協定)
- 交付面積:653,815ha (H26比:△33,405ha)
- 交付金額:51,405百万円 (H26比:△2,770百万円)
- 協定参加者数:59万人 (H26比:△2万人)

平成27年度の実施状況(埼玉県)

- 13市町村、60協定で実施。
(H26比:△1町、△19協定)
- 交付面積:338ha
(H26比:△62ha)
- 交付金額:30,379千円
(H26比:△4,987千円)
- 協定参加者:1,350人
(H26比:△334人)



皆野町 立沢集落
(畑・15°)



本庄市 高柳の池下集落
(田・1/57)

平成28年度変更点

集落戦略の作成

- 「集落戦略」...農地や集落を将来にわたって守っていくため、協定参加者で話し合い、集落の将来像を取りまとめたもの。
- 協定農用地が15ha以上または、集落連携・機能維持加算に取り組んでいる協定が集落戦略を作成した場合、返還規定が緩和される。

※農地が耕作放棄されたときなどに、交付金の返還が「全ての協定農用地」から「耕作放棄された農用地のみ」に緩和される。

推進交付金の1本化

日本型直接支払制度3事業の推進交付金を「日本型直接支払推進交付金」として1本化

多面的機能支払推進交付金

中山間地域等直接支払推進交付金

環境保全型農業直接支払推進交付金



日本型直接支払推進交付金

5

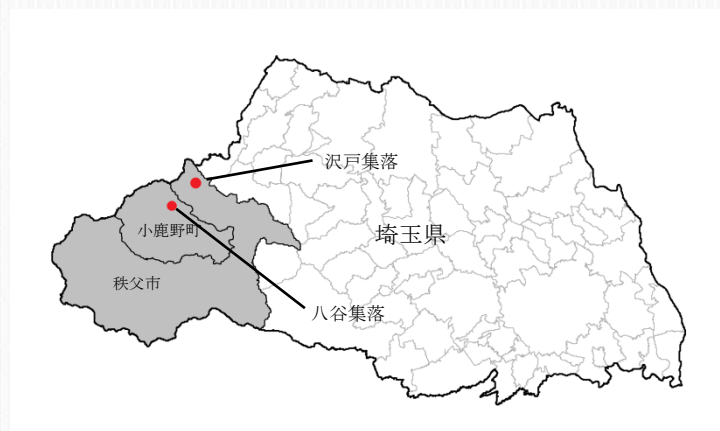
平成28年度実施見込み

- 13市町村、60協定で実施
- 交付面積:337ha
- 交付金額:30,389千円

平成28年度の新たな取り組み

- 小鹿野町八谷(やがい)協定が、新たに「超急傾斜農地保全管理加算」の取り組みを開始。

県内での超急傾斜農地保全管理加算取り組み集落は、平成27年度から取り組んでいる秩父市沢戸協定と併せて2協定。



超急傾斜農地保全管理加算について

超急傾斜農地保全管理加算

- 超急傾斜地(田:1/10以上、畑20°以上)の農用地の保全・生産される農産物の販売促進に取り組む場合
⇒田・畑:6,000円/10a 加算
- 農用地の保全
石積み法面の補修、土壌流出の防止、耕作道の維持管理 等
- 超急傾斜地で生産される農産物の販売促進
パンフレットの作成、イベントでのPR、パッケージの作成 等

超急傾斜農地保全管理加算の取り組み

秩父市 沢戸集落

【活動内容】

- ・花桃、紅葉等の景観植物の植栽
- ・かぼす、銀杏等の生産と販売

- ・農業機械使用時安全確保のための耕作道、作業道の確保
 - ・かぼす・銀杏等のPRのためのパンフレットの作成
 - ・かぼす・銀杏等のイベントでのPR
- ※下記イベントにおいて、沢戸集落の活動をPRするためのパネル展示、農産物の紹介を実施
- 「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」(予定)(平成28年11月19日、20日)
 - 秩父市のイベント(吉田よいところ祭り)(平成28年11月6日)

加算
取組



草刈りの様子



沢戸集落(畑・19° ~38°)

超急傾斜農地保全管理加算の取り組み

小鹿野町 八谷集落

【活動内容】

・ゆずの生産と販売

・農業機械使用时安全確保のための耕作道、作業道の維持管理

・ゆずのイベントでのPR

※下記イベントにおいて、八谷集落の共同活動やゆずの生産をPRするためのパネル展示、農産物の紹介を実施

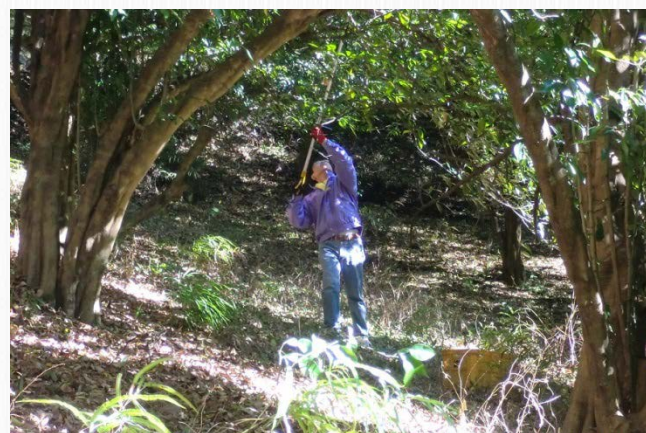
○「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」(予定)(平成28年11月19日、20日)

○小鹿野町のイベント(長若自然休養村まつり)(平成28年11月23日)

加算
取組



超急傾斜農地(畑・26°)



ゆずの収穫の様子

御清聴ありがとうございました

